

つむぎね ×

島地保武 × 小野龍一 × OGIJIMA
「Come and Go」

出演者大募集!!

瀬戸内国際芸術祭2022秋会期に男木島で上演される「Come and Go」のパフォーマーオーディションを開催します。

潮の満ち引きのように繰り返される出逢いと別れ。変化、変転をとめない海のイメージから、宇宙へと広がるダンスパフォーマンスの舞台を男木島でつくります。

海藻、魚や巨大クラゲに乙姫さまといったユニークなつむぎねの衣装、世界的ダンサーであり振付家の島地保武氏がユーマラスに振付、演出。音楽は海を深く強く表現する若き才能の小野龍一氏が担当します。踊るのはオーディションで集まったダンサーたち。瀬戸内海の秋空の下、予測不能なドラマが生まれます。

オーディションでは、ワークショップ形式の稽古を4日間行い、約12名のパフォーマーを選抜します。年齢、性別、ダンス経験は問いません。誠実に真摯に踊りたいと思う方を募集します。

演出・振付：島地保武 音楽：小野龍一
衣装：つむぎね

募集対象 踊りたい方。年齢、経験不問。

募集人数 約12名

参加条件 練習中は1人で参加できる方。
リハーサル、本番、全てのスケジュールに参加可能な方。

応募〆切り 2022年7月20日(水)必着

※オーディションの詳細については、申し込み後に事務局よりメールにてご連絡します。
※新型コロナウイルス感染症対策のため、施設使用定員(100名)に達した場合、申し込みをお断りすることもございますので、ご了承ください。

SETOUCHI TRIENNALE 2022



みなさまにこれから会えるのをとても楽しみにしています。毎朝体操をして、からだのいろいろな気づき、音楽とともに骨を揺らし肉を波立たせ、心を弾まし、たくさん一緒に踊りましょう。



ダンス指導：島地保武(しまじやすたけ)

ダンサー・振付家。04~06年Noism(新潟)、06~15年ザ・フォーサイス・カンパニー(フランクフルト)に所属しメインパートを踊る。13年に酒井はなどのユニットAltneuを結成。資生堂第七次椿会メンバーになりダンスパフォーマンスに加えインスタレーション作品を発表するなど多岐にわたり活躍。近年の作品には、16年愛知芸術劇場制作『あしか』、17年谷桃子バレエ団『SequenzaJ』、18年Noism2『私を泣かせてください』等がある。www.shimaji.jp

スケジュール・会場

ワークショップ・オーディション	
会場：丸亀町レッツホール / 高松市丸亀町1番街1高松丸亀町壱番街東館4	
8月11日(木祝)	13:00~17:00
8月12日(金)	10:00~18:00
8月13日(土)	10:00~18:00
8月14日(日)	10:00~16:00

リハーサル	
会場：男木島 / 男木小・中学校グラウンド	
8月15日(月)	10:00~16:00
8月16日(火)	10:00~16:00

本番	
会場：男木島 / 男木小・中学校グラウンド	
10月7日(金)	本番前リハーサル
10月8日(土)	11:30~12:20、
10月9日(日)	15:00~15:50
10月10日(月祝)	
10月14日(金)	本番前リハーサル
10月15日(土)	11:30~12:20、
10月16日(日)	15:00~15:50

※8月11~14日に行われるオーディションで選考された方のみリハーサル・本番に参加いただけます。

①氏名	②年齢	③性別(どれかに○。 男・女・その他)
④住所		
⑤TEL	⑥E-mail	
⑦ダンス経験 有・無 (どちらかに○。有の場合は具体的にご記載ください。)		
⑧備考欄(ご質問やご要望等あればご記載ください。)		

申し込み方法

1. 申し込みフォーム: 以下URLよりお申込みください。
<https://forms.gle/Lyx85JY4wR6XrArs7>



2. 郵送: 申込み表に必要事項を記載の上、下記まで郵送ください。
 〒760-0019 香川県高松市サンポート1-1 高松港旅客ターミナルビル6F
 瀬戸内こえびネットワーク内 瀬戸内国際芸術祭パフォーミングアーツ担当

注意事項:

※ワークショップを通じて、最終的に約12名をパフォーマーとして選抜します。

※オーディションに合格しても出演料や報酬は発生しません。

※参加にあたる交通費や宿泊費は自己負担となります。

※新型コロナウイルスの感染状況によってはPCR検査及び抗原検査の結果等を提出していただくことがあります。

※活動の際は、感染予防対策にご協力ください。

秋会期に男木島で開催される「Come and Go」に先立って、夏会期にダンスパフォーマンス「MAMMOTH ひびのこづえ×藤村港平×川瀬浩介」を開催します。国内外問わず多くの振付家や演出家の作品に出演している若手ダンスパフォーマー藤村港平氏のパフォーマンスがひびのこづえ氏の衣装に息を吹き込み、川瀬浩介氏による音楽にあわせ、マンモスが踊り出します。

2022年8月11日(木・祝) 18:00~

8月12日(金) 18:00~

場所: 高松港・tk01 大巻伸嗣作品「Liminal Air-core」前

料金: 無料

衣装: ひびのこづえ / ダンス: 藤村港平

音楽: 川瀬浩介

藤村港平: ダンサーとして森山開次や平山素子、梅田宏明、鈴木竜、Julie An Stanzak(Pina Bausch/Tanztheater Wuppertal)等の作品に出演のほか、ひびのこづえをはじめ、川瀬浩介、小野龍一らと共に作品「MAMMOTH」や「RYU」を発表するなど、他分野のアーティストとのコラボレーションも積極的に行う。近年は自作の楽器を用いて自ら演奏し踊る作品を発表し続けている。15th Seoul International Dance Competitionにて chairman of contemporary prizeを受賞その他、東京新聞全国舞踊コンクールを始め国内コンクールのソロ部門にて多数一位を受賞。

川瀬浩介(作曲家・美術家): 1970年京都生まれ 東京育ち。2002年、《Long Autumn Sweet Thing》を発表し美術家としてデビュー。10年、第13回文化庁メディア芸術祭に代表作《ベアリング・グロッケン II》が出展され話題に。森山開次《サーカス》の音楽を担当。「あなたの心に眠る感動を呼び覚ますこと——それが私の使命です」

ひびのこづえ: 静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。7/2-9/19 熊本市現代美術館にて「不思議の森に棲む服 ひびのこづえ×KUMAMOTO」展覧会開催。

2022年夏、高松港にマンモス現る!?

MAMMOTH

ひびのこづえ×藤村港平×川瀬浩介

